

おかあちゃんがつくったる

長谷川 義史 作 講談社 読みきかせ時間：9分

【内容紹介】亡くなったおとうちゃんの前まで張り切るおかあちゃんは、なんでも手作りしてくれる。でもちょっとかっこ悪い…。楽しくじんわりあたたかい家族のお話。

下諏訪町立図書館 島田 博子



塩の街 有川 浩 著 角川書店 2010

【内容紹介】この本は塩が世界を埋め尽くす塩害の時代。その崩壊寸前の東京で暮らす男と少女の物語です。男の名前は秋葉、少女の名前は真奈。静かに暮らす二人にさまざまな人が関わっていく。そしてある時「世界とか救ってみたいと思わない？」とそそのかすように囁く男が、二人に運命を連れてくる。有川浩先生が最初書き上げた本であり、後に「空の中」「海の底」と続き自衛隊三大シリーズとなった一部です。この塩害の時代を秋葉と真奈はどう受け入れ、生き延び、救っていくのか、とても感動して泣ける作品です。

下諏訪向陽高校 図書委員 塚田 滉太



図書館2階の掲示板には向陽高校と岡谷東高校の図書館便りが貼り出されています。今回は図書委員の本の紹介コーナーから転載させていただきました。

春を告げる花 セツブンソウ (節分草)



〈辰野町上島にて撮影〉

和名は、早春に芽を出し節分の頃に白い花を咲かせることからついた。可憐とはかなさが魅力。

(矢島正恒)

年が変わり、寒さも一層増していますが、一月の小寒や大寒と暦の上でも、一年で最も寒さが厳しい時期となり、暖かな春が待ち遠しい季節となりました。昨年は二月の大雪により、諏訪地域は大変な被害を受けましたが、今年は昨年のような気候とならないようにと祈るこの頃です。

二月の行事としては、「節分」で豆まきがあります。我が家では、その際に割った薪に炭で鬼が数えられるように、自宅や蔵の入口に置きます。

また、二月八日には、「事八日」と言われて、家の娘や孫が良縁に恵まれるように、地元の前祖神に、村人に見られないように、朝暗い内にあんころ餅をつける風習があり、今でも続いています。

このように厳しい冬の中にも、代々受け継がれている伝統行事を行っているうちに、暖かな日差しとなる春が、日に日に訪れてくると期待し、楽しみにしている最近です。

LINE NEWS

教育長杯をめざして熱い戦い

下諏訪町教育長杯 第13回チャンスボール大会



11月9日(日)



優勝杯の返還



第10打に願いをこめて



14チームによる熱い戦い

優勝		第3位	
決勝 (新コート)		3位決定戦 Aコート	
準決勝 (旧コート)	準決勝 (旧コート)	準決勝敗退チーム	準決勝敗退チーム
Aグループ1位 たかつきB組	Cグループ1位 インスタナ10G	Bグループ1位 徳の院24	Dグループ1位 下諏訪青年会
Aグループ		Bグループ	
9:00 たかつきB組 対 老福チーム (A)	9:00 老福センターチームその2 対 徳の院24 (B)		
9:30 教育委員会 対 社東婦人会A (新)	9:30 老福センターチームその2 対 四王よつば会 (B)		
9:30 教育委員会 対 たかつきB組 (A)	10:00 たかつきA組 対 徳の院24 (新)		
10:00 たかつきB組 対 社東婦人会A (新)	10:30 徳の院 対 四王よつば会 (B)		
10:30 社東婦人会A 対 老福チーム (A)	10:30 老福センターチームその2 対 たかつきA組 (新)		
Cグループ		Dグループ	
9:00 インスタナ10G 対 太極マンディー (C)	9:00 社東婦人会B 対 まめの会 (D)		
9:30 インスタナ10G 対 バウンドレディーズ (C)	9:30 社東婦人会B 対 下諏訪青年会 (D)		
10:00 太極マンディー 対 バウンドレディーズ (C)	10:00 まめの会 対 下諏訪青年会 (D)		

()内の文字はコート名



優勝チーム 「たかつきB組」